

# プログラマブル信号発生器

型名 PCK-50AF



## 特長

- 広帯域 1Hz～50MHz, 高分解能(1Hz)
- シングル電源 +5V 動作
- 周波数の設定は DIP SW 等によるパラレルデータによる設定又はパソコン等の RS-232C シリアルポートからによる周波数の設定が可能
- 設定した周波数は電源の OON/OFF に関係なく永久に記憶可能
- サイン波のアナログ出力と CMOS-TTL レベルのデジタル出力を有する
- スプリアスの少ない純度の高い信号
- 小型モジュール



株式会社ディエステクノロジー

埼玉県朝霞市北原2-9-10

TEL 048-470-7030 FAX 048-470-7022 <http://www.dst.co.jp>

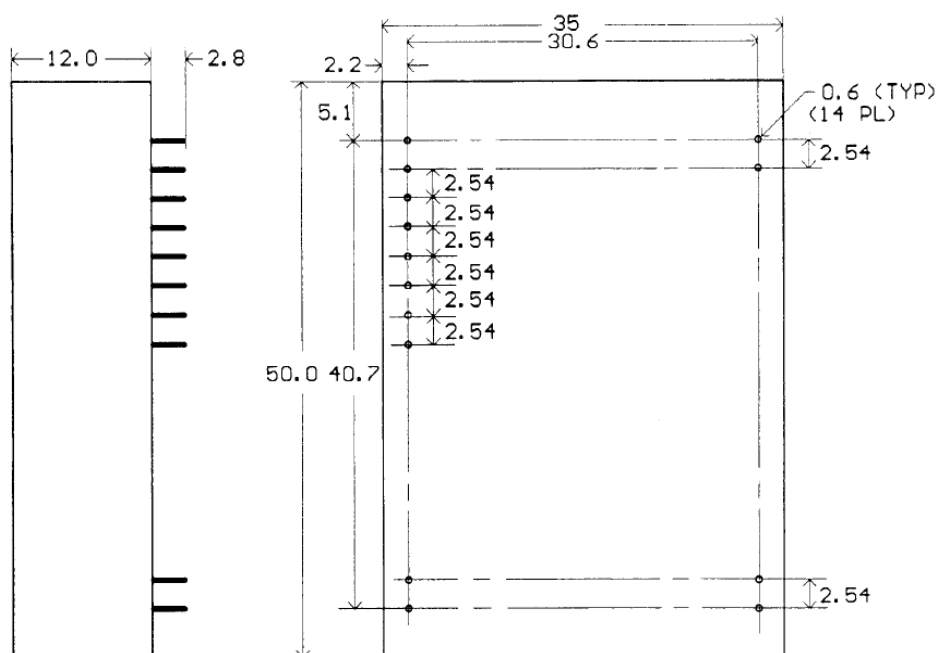
## ● 仕様

出力レベル		
デジタル出力	CMOS/TTL	
アナログ出力	1V <sub>p-p</sub> ±20% (終端開放) 0.5V <sub>p-p</sub> ±20% (50Ω終端)	
アナログ出力インピーダンス	50Ω	
出力周波数範囲	1Hz ~ 50,000,000Hz	(SQR 出力)
	100Hz ~ 50,000,000Hz (50Ω終端)	(SINE 出力)
周波数分解能	1Hz	
出力波形 DUTY	50%±10% (SQR 出力)	
周波数精度	±50ppm 0°C ~ 50°C	
位相雑音	<-90dBc @ 1kHz OFFSET	
スプリアス	-40dB (但し、高調波成分は除く)	
アナログ出力 高調波スプリアス	-35dB	
周波数記憶保証回数	1 万回以上	
周波数制御	パラレル入力 信号線 6 本	4ビット BCD 入力、1ビット桁/データ切り替え 1ビットストローブ信号
	シリアル入力 信号線 2 本	9600BPS、8ビット、パリティなし 1ストップビット ASCII 8 桁数字データ+改行コード
周波数切り替え時間	6.5ms 以内 (周波数データの設定完了後から信号が得られるまでの時間)	
外形寸法	50 x 35 x 12 (mm)	
電源電圧電流	+5V±5% 200mA	

## ● オプション

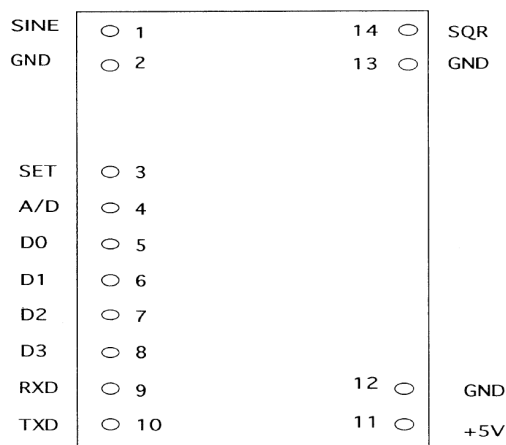
周波数設定ボード FIX-50

## ● 外観図



## ● ピン配置

### PIN ASSIGNMENT



## ● ピンの名称と説明

ピン番号	名称	説明
1	SINE	アナログ サイン波出力端子です
2	GND	電源、信号の GND です
3	SET	パラレルデータで設定する場合のストロープ信号です 内部でプルアップされており GND に落とすことにより A/D、D0～D3 のデータが内部に読み込まれます 立ち下がリエッジでデータは取り込まれます
4	A/D	パラレルデータ D0～D3 の桁または数値の選択をします H(オープン)で 8 桁の周波数データの変更したい桁を設定します L(GND にショート)で選択されている桁の数値を設定します 内部でプルアップされています
5	D0	周波数データ桁又は数値データのビット 0(2 <sup>0</sup> )の入力です 内部でプルアップされており、コンプリメンタリの入力ですので H(オープン)で 0、L(GND にショート)で 1 です
6	D1	周波数データ桁又は数値データのビット 1(2 <sup>1</sup> )の入力です
7	D2	周波数データ桁又は数値データのビット 2(2 <sup>2</sup> )の入力です
8	D3	周波数データ桁又は数値データのビット 3(2 <sup>3</sup> )の入力です
9	RXD	調歩同期シリアルデータ入力ピンです レベルはTTLコンパチ CMOS レベルです 入力はプルアップされていますので使用しない場合はオープンに して下さい
10	TXD	調歩同期シリアルデータ出力ピンです レベルは TTL コンパチ CMOS レベルです 使用しない場合はオープンにして下さい
11	+5V	電源ピンです +5V を供給して下さい
12	GND	電源、信号の GND です
13	GND	電源、信号の GND です
14	SQR	方形波出力信号ピンです